

## NII 受託研究：日本の学術情報発信状況の調査 活動記録

平成 21(2009)年 9 月 1 日 (月) ～平成 22(2010)年 2 月 28 日

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 逸村裕

標記について以下の活動を行った。この活動は平成 22 年度も継続して行う。

## 1. 研究協力者

松林 麻実子(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)  
呑海 沙織 (筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)  
佐藤 翔 (筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

## 2. 文献／WWW 調査

## 3. 国内学会関係者聞き取り調査

## (1) 国内学協会関係者

- ・日時：2010 年 1 月 18 日 (月) 17:00-
- ・場所：国立情報学研究所
- ・インタビュー：谷藤幹子(NIMS)、永井裕子(日本動物学会)、林和弘(日本化学会)
- ・インタビュー概要：国内学協会学術出版に関わるポイントについて列挙。これをもとに情報交換と議論。

## (2) 数学関係者

- ・日時：2010 年 2 月 19 日 (月) 17:00-
- ・場所：国立情報学研究所
- ・インタビュー：行木孝夫(北海道大学)
- ・インタビュー概要：国内外の数学系ジャーナル電子化の経緯と問題点、数学系学術出版の特徴と他の自然科学系との違い、数学系学術情報コミュニケーションの専門家の必要性と求められる適正等について情報交換。

## 4. 英国学会関係者聞き取り調査

## (1) Association of Learned and Professional Society Publishers (ALPSP) / Institute of Mechanical Engineers (IME) / Royal Society Publishing (RSP)

- ・日時：2010 年 2 月 26 日 (金)
- ・場所：Institution of Mechanical Engineers (IMECHE), London
- ・インタビュー：
  - ・ Mr. Nick Evans (Chief Operating Officer, ALPSP)
  - ・ Mr. Phil Hurst (Publisher, RSP) 他
- ・インタビュー概要：IME、RSP それぞれの規模および学術誌の刊行状況について説明。ALPSP が行う業務について。学術雑誌の刊行形態の今後について意見交換。分野による傾向の違いとファイルフォーマットとしての XML の重要性について議論。電子的なファイルの保存問題、学術情報プラットフォームの構築上の課題について意見交換。

## (2) IOP Publishing

- ・日時：2010 年 2 月 25 日 (木)

- ・場所：IOP Publishing, Bristol
- ・インタビュイー：
  - ・Mr. Tony O'Rourke (Assistant Director, Journals) 他
- ・インタビュー概要：はじめに IOP Publishing の各部署の案内。特に社内にデザイン部門を擁することについて詳細な説明があり、情報交換。  
IOP Publishing が発行する雑誌のビジネスモデルについて、オープンアクセス誌である New Journal of Physics 誌の詳細について。オープンアクセスモデルについて意見交換。  
学術雑誌の刊行形態の今後、印刷を前提とした雑誌の形が今後どのように変化しうると考えているかについて意見交換。

### (3) JISC Journal Working Group (JISC collection)

- ・日時：2010年2月22日（月） 14:00-
- ・場所：Kings Norton Library, Cranfield University, Bedfordshire
- ・インタビュイー：Dr. Hazel Woodward (Chair of JISC Journals Working Group, University Librarian of the Cranfield University and Serials Editorial Board of the UKSG)
- ・インタビュー概要：JISC collection と Journal Working Group の関係および設立の経緯について。JISC collection の活動、英国政府から JISC collection への資金の流れ、JISC collection が運用する電子ジャーナル購読モデルである NESLi2 の詳細。その他、英語偏重の傾向と学生の情報リテラシー等の学術情報ポータルを抱える課題、電子ジャーナルバックファイルの保存問題等についての情報交換。

### (4) JISC Collection

- ・日時：2010年2月23日（火）
- ・場所：JISC Content Procurement Company Ltd., London
- ・インタビュイー：Ms. Lorraine Estelle (Chief executive officer)
- ・インタビュー概要：企業としての JISC collection の組織の詳細と JISC、HEFCE 等の関連団体との関係、現在の業務の詳細。JISC collection を企業として立ち上げた理由、図書館との人材交流等の状況、電子ジャーナルバックファイルの購入・保存の具体的な状況等について情報交換。

### (5) JISC Digital Media

- ・日時：2010年2月24日（水）
- ・場所：JISC Digital Media, Institute for Learning and Research Technology, University of Bristol, Bristol
- ・インタビュイー：
  - ・Ms. Karla Youngs (Director) 他
- ・インタビュー概要：JISC Digital Media の組織、職員構成等。業務内容詳細。JISC 他部署との関係等。実際に advisory service に寄せられる質問内容、法律的な質問など専門の範疇を超える質問への対応状況、職員の専門性の状況、JISC Digital Media が行うワークショップの内容および開催状況の詳細等について情報交換。

これらの調査は平成 22 年度も継続する。22 年度末の報告書作成を期したい。

以上